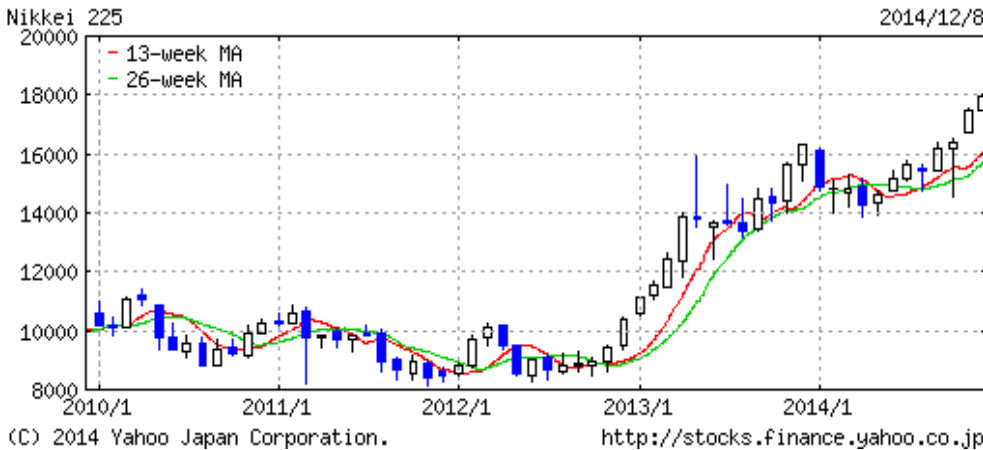


間もなく衆議院選挙が始まります。大義なき総選挙と言われてはおりますが、国民の権利ですので投票には行きます。しかしながら、多くの国民の関心は低いようですので、投票率も前回よりは低迷するのは間違いないようです。また、各メディアの調査によると自民党の圧勝のようです。昔から選挙予想は行われておりましたが、その確度が年々高くなっているような気がするのは私だけではないと思います。ですので、余程の問題や失言がなければ、おそらく自民党の圧勝なのでしょう。

大義なき解散とはいうものの、安倍さんが言う大義はアベノミクスへの信任であります。12月8日に実質 GDP 改定値(7-9 月期)が発表されましたが、アナリストの予想に反し、年率換算で-1.9%と速報値より悪い数字が発表されました。しかしながら、株価はその日、7年4か月半ぶりに一時18,000円台をつけております。株価は景気の先行指標ですので、投資家は将来経済が好転するという事で株を買っています。



もちろん現実には私自身も、景況は良くないと感じておりますし、様々な問題があることも事実です。しかし、自民党が圧勝ということになれば、アベノミクスへの信任であるわけでありませぬ。

左記の日経平均の推移を見ても2年前の総選挙で自民党が政権を取り戻して以降、基本的には上昇

しております。もちろん、株をやっていない人も沢山いると思いますが、基本的には株が上がるということは企業の業績が良くなるだろうとの皆の考えであるわけです。景気が全てではないですが、少なくとも株高に関しては、一定の評価をしてもいいのではと思っておりますし、景気が回復すれば税収も増えます。税収が増えれば、国の借金も減らせるわけですし、社会保障の財源にもなり得ます。

不動産はといいますとハウスメーカーは大変なようです。大手ハウスメーカーは月次の受注状況を発表しておりますが、8%への増税以降、ずっと前期比マイナスが続いています。ある程度の反動減は想定していたようですが、想定以上の反動減にどこも悲鳴を上げているようです。そんな中でも、大和ハウスは流通店舗や物流倉庫、積水ハウスは貸家住宅で収益を上げ、全体では売り上げ増ということなので、やはり強いなと思います。

とりあえず、消費税の増税は予定より1年半延期になりました。前回は書きましたが、大規模な金融緩和も行われております。急速な円安の進行が気になるころではありますが、お金は市中に溢れている状況です。金融緩和や増税の先送り、日本が破綻してしまうとの声もあり、その可能性もあるのでしょう。しかしながら、景気が良くならなければ、他にどんなやり方があるのかと思ってしまう。成長戦略、イノベーション等ありますが、言うは易く行は難しの感も否めませぬ。私はこれから景気が良くなると信じております。

塩田了丈